



たき幼稚園

こだま

毎朝、おうちの人と手をつないで、いろんな表情を見せながら子どもたちが登園してきます。見送るおうちの方は、「行ってらっしゃい」と手を振ったり、「じゃあね」と言ってハイタッチをしたり、ぎゅっと抱きしめたりと、いろいろな見送りをされています。きっと、バス停でも同じようなことが行われていることと思います。「行ってきます」「行ってらっしゃい」の言葉と、愛情たっぷりの見送りは、子どもたちの幼稚園での大きなエネルギーになっています。

さて、金子みすゞ記念館の館長、矢崎節夫(やざき せつお)さんの「こだま」についてのお話を紹介します。矢崎さんは、『かつて、私たちのまわりにいた大人は、私たちをいつも自分のことのように思ってくれていました。たとえば、私がころんで「痛い」というと「痛かったね」と言ってくれました。痛みは半分になり、さらに、「痛いの痛いのとんでいけ」までやってくれたので、痛みは消えました。』とされています。そんな経験をした人は多いでしょう。「痛い」と言って「痛かったね」という言葉が返ってくると、ほっとします。わかってもらっているなど安心します。しかし、「痛い」と言っても、「痛くない」とか「泣くな」とか、無視をされたりしたらどうでしょうか。それが、ずっと続いていたとしたらどうでしょうか。矢崎さんは、『一度も「こだま」をしてもらえない痛みは、子どもの心の中に全部残ります。やがて心の中が、痛さや、悲しさ、さびしさでいっぱいになります。そして、ある日、器をひっくり返して空にするかのように大きな問題を起こすのです。私たち大人が、痛い時に、「痛いね」と、ちゃんと受け容れてあげていれば、その子の痛みは消えていたかもしれない。つまり、「こだま」の基本は丸ごと受け容れることです。』とされています。

さらに、「こだま」の原形はお母さんと赤ちゃんの心音から始まっていて、『お母さんのおなかに、聴診器を当てると赤ちゃんの心音がトクトクと聞こえ、その後すぐにお母さんの心音がドクドクと聞こえるのです。「いるよ」「いるね」「大好きだよ」「大好きだよ」と、お母さんと赤ちゃんの心音がこだまします。「こだま」は人間のいとなみの中で最も美しい行為なのです。』とされています。おなかの中にいる時から受け容れてもらっていると思うと嬉しくなります。

もちろん、丸ごと受け容れるといっても、子どもを好き放題にさせることではありません。悪いことをしたときも、良いことをしたときも、正面から子どもを見て、受け止めることだと思っています。子どもたちのどんな小さな投げかけにもこたえられる大人でありたいと思います。

こだまでしょうか

「遊ぼう」「遊ぼう」
「遊ぼう」「遊ぼう」。

「馬鹿」「っていうと」
「馬鹿」「っていうと」。

「もう遊ばない」「っていうと」
「遊ばない」「っていうと」。

そうして、あとで
さみしくなって、

「ごめんね」「っていうと」
「ごめんね」「っていうと」。

こだまでしょうか、
いいえ、誰でも。

金子みすゞ

☆2月の行事予定☆

	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	金	豆まき	15	金	生活発表会 はばたき会中間報告会 新5歳児入園説明会
2	土		16	土	
3	日		17	日	
4	月		18	月	体重測定
5	火		19	火	多紀小学校体験入学 (ばら組のみ)
6	水	新4歳児入園説明会	20	水	
7	木		21	木	
8	金		22	金	
9	土		23	土	
10	日		24	日	
11	月	(祝) 建国記念の日	25	月	集金日
12	火		26	火	お別れクッキング
13	水		27	水	2月生まれのお誕生日会
14	木		28	木	城東保育園3歳児との交流会 月末統計

※ 19日(火)の多紀小学校体験入学は、ばら組園児のみです。

※ 卒園式・修了式は、3月19日(火)です。

卒園式は、ばら組の保護者のみ参加していただきます。

修了式は、ゆり組園児のみの参加です。



2月の保育のねらい

【4歳児】

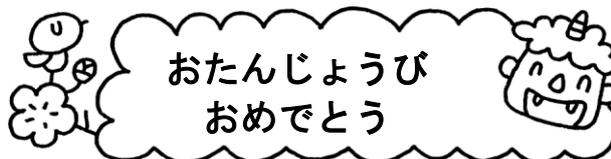
◎遊びの中でイメージを膨らませ、自分の気持ちや考えを表現して遊びを楽しむ

◎寒さに負けず、戸外でいろいろな遊びに進んで取り組む。

【5歳児】

◎目的に向かって友達と協力し、ひとつのものを作り上げていく喜びを感じる。

◎冬から春への自然事象に興味や関心をもつ。



2月生まれの

おともだち

6才になります☆

15日 ひろと さん

16日 あやの さん

